

課題番号：36

課題名		廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料デブリに由来する α 核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「廃棄体検認」 課題「 廃棄体確認、分析方法 」	
ニーズ		望ましい状態とその理由	（参考）関連する研究課題
1	廃棄体確認、分析方法を確立したい。	<p>●通常の原子力発電所から発生する廃棄物に対する検認の考え方と方法は確立されているが、事故を起こした福島第一原子力発電所においてはそのまま適用することは困難である。</p> <p>●福島第一原子力発電所の廃炉においては、多種多様かつ大量の廃棄物を対象とするため、合理的かつ現実的な廃棄体確認の考え方と、それに応じた分析方法を確立することが望まれる。（合理性を向上させるため、廃棄体確認を行わずに処分を可能とする考え方・方法の確立も含む）。</p>	課題リスト9/12「スケーリングファクタ法の開発」
関連する課題		<p>○「基礎・基盤研究の全体マップ（詳細版）」にて、本課題と矢印で結ばれた課題は関連する課題です。ご参照ください。</p> <p>○また、「処理・処分・環境回復（燃料デブリに由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」と「汚染水対策」、「使用済燃料プールからの燃料取り出し」、「燃料デブリ取り出し」を結ぶ「キャラクターゼーション（廃棄物管理のための）」も、本課題と関連する課題です。ご参照ください。</p>	